

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 中原 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和7年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

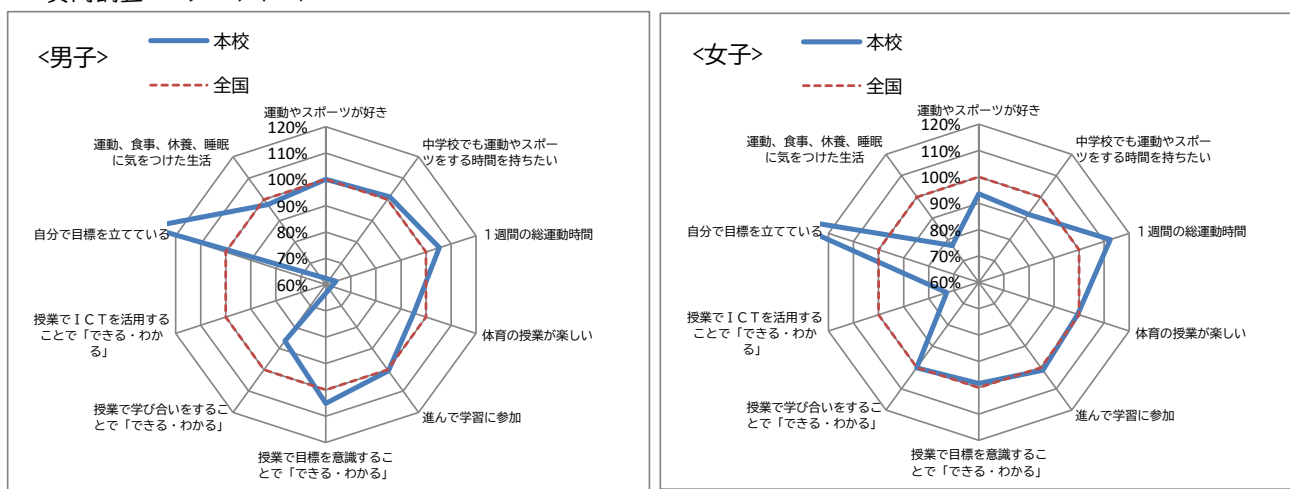
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
本市	16.16	19.89	34.46	41.16	50.80	9.47	152.45	22.02	54.09
本校全国平均以上の種目	○		○		○	○		○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97
本市	15.73	18.70	38.63	39.23	39.35	9.75	144.11	13.51	54.98
本校全国平均以上の種目		○	○					○	○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査レーダーチャート



質問調査の結果分析

(現状と成果)児童自ら目標を立てて学習に取り組むことが出来ている。1週間の総運動時間は全国平均を上回り、主体的に取り組む姿勢が定着している点は大きな成果。
(課題)ICT活用や学び合いによる習得感が低く、個人の意欲を客観的な振り返りや集団での技能向上に繋げられていない。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

5.6年生は、ICT機器を利用して、自らの動きやよい手本を撮影して確認することで、子どもたち自身が自分の動きを分析したり、お互いにもアドバイスをしあうなどして目標達成できるようにする。また、子どもたちが考えたことを、スプレッドシートに打たせることで、他者参照を言語化できない児童も自分の動きを理解するきっかけにもなるため、入力する時間も同時に確保できるようにする。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

今年度は大縄集会や、縦割りの活動を行った。大縄集会は、縦割りでを行い、練習の中で何回跳べたのかを毎回計測することで、もっと多く跳べるようになりたいと、児童たちの運動意欲を高めることが出来た。また、大縄集会に向けて練習する児童が増え、昼休み等に外で遊ぶ児童の数も多くなり、外で遊ぶ習慣が身についた児童が増えた。今後も他者と関わり合いながら運動の楽しさを味わえるように内容の充実を図っていく。